

2021年（令和3年）受賞者
栄えある受賞おめでとうございます。（敬省略）

瑞宝双光章（秋）

山 本 英 明

埼玉県知事表彰 公衆衛生事業功労者に対する知事表彰

今 出 克 利

中 山 進

庭 田 清 隆

埼玉県知事表彰 埼玉県表彰規定に基づく保健衛生功労者

芦 葉 弘 志

瑞宝双光章を受章して

山本 英明

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまにおかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、令和3年秋の叙勲において、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の推薦により、瑞宝雙光章受章の栄誉に浴することができました。これもひとえに永年にわたり歴代会長をはじめ、多くの先輩方また同僚、そして会員の皆さまに支えられた賜物と改めて深く感謝申し上げます。

11月30日、埼玉県知事公館において大野元裕知事より勲記・勲章の伝達を受けました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、式後のティーパーティーは中止になりましたが、中庭で知事からお言葉を頂き写真撮影に応じていただくなど貴重な体験をさせていただきました。

また、上述の感染状況を鑑み今年も皇居での拝謁は叶いませんでしたが、後日宮内見学と写真撮影を行う旨の案内を頂きました。新宮殿の長和殿 波の間には、横14メートル超の大壁画「朝明けの潮」が描かれています。製作者 東山魁夷画伯の画文集で本作品の制作への思い～完成に至るまでのプロセスの記述に出会い感動し、その気宇壮大な作品を一度本物を見てみたい、若かりし頃の想いが蘇り数十年越しの出会いを楽しみにしております。

振り返りますと、本技師会の役職として携わったことは、昭和62年から5年間、水鳥好和会長の下で「埼玉放射線」編集担当の常任理事に就き、次は平成21年から6年間、小川清会長の元で監事を勤めさせていただいたわずか11年間であります。このたびの受章内示を受けてまず脳裏をよぎったことは、もっと本会に尽力すれば良かった、もっと仕事も精を出せば良かった、そうすれば胸を張って勲章をいただけたのにと、恥ずかしながら自らのゆるい生き方の省察でした。

今後はこの自省を肝に銘じて、この栄誉を恥じないように、恩送りができるように最善を尽くしてまいりたいと思っております。なお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

末筆ながら、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のますますの発展と会員の皆さまのご健勝とご多幸をこころよりお祈りし、ご報告とお礼のあいさつとさせていただきます。



左：山本英明さま 右：大野元裕知事

「埼玉県知事表彰」受賞にあたって

慈正会 丸山記念総合病院
芦葉 弘志

埼玉県診療放射線技師会の皆さま、丸山記念総合病院の芦葉と申します。

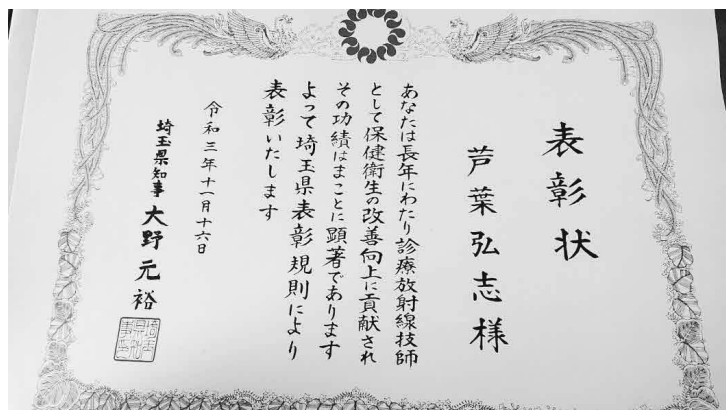
令和3年11月16日火曜日、さいたま市埼玉会館にて、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の推薦により長年の保健衛生の改善向上に貢献したことが評価されまして、埼玉県知事表彰を受賞させていただきました。

昭和63年に中央医療技術専門学校夜間部に入学し、学業の傍ら医療法人慈正会丸山記念総合病院に放射線科助手として入職しました。

平成4年4月に診療放射線技師の資格を取得し、診療放射線技師として同病院の診療放射線技師となりました。当初の業務内容としてはX線撮影、CT、血管撮影など診療放射線業務全ての業務を担当し、放射線科医師や同科の先輩の指導の下、院内外の研究会や学会に積極的に参加し、診療放射線技師として多くの基礎を学びました。当時は消化管検査は、医師が行う病院が大多数でありましたが、診療放射線技師の消化管検査施行に積極的に携わり、上部消化管検査と下部消化管検査の診療放射線技師施行を定着させました。その際、診療放射線技師が読影レポートを一次記載する読影補助業務も合わせて軌道にのせました。また、乳腺診療の分野でも、乳腺外科の医師と、マンモグラフィの撮影だけでなく、消化管検査同様、診療放射線技師が読影レポートを一次記載することを定着させました。他の業務においても術前・術後カンファレンスへの参加や、自分が担当した造影透視検査や乳がん手術に積極的に立ち会うなど、医療の発展のために果敢に取り組みました。これらのノウハウを学会発表や講習会などでプレゼンさせていただきました。

平成20年には乳腺外科医師と共に、乳がん術前検査の一環として、CT装置で、センチネルリンパ節の同定の手技を確立しました。その後CT画像の特徴量や形態、造影濃淡などから、CT画像だけで良性悪性の判定ができる事を見つけ出しました。その結果、リンパ節廓清の回避や手術時間短縮という患者の負担軽減につながりました。それらを論文化したところ英文医学誌に掲載され、北米医学学会で発表し、博士号を取得することができました。

このたび推薦いただきました、関係各位の皆さま方、また日頃より病院臨床活動を応援いただいている職場の皆さま、研究活動を応援いただきました大学院等関係者の皆さま、友人知人の皆さま、そしてもろもろの活動に応援いただいております家族、これからも、地域医療発展のため、日々努力していきたいと思っております。今後ともご指導ご助言のほどよろしくお願い致します。



第5回 SART学術ナイトセミナー ～ステップアップのためのワンポイントアドバイス～ 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
学術理事 中根 淳

2021年10月27日にweb会議システムを用いて、第5回 SART学術ナイトセミナー～ステップアップのためのワンポイントアドバイス～を開催しました。参加は29人の申し込みがありました。内訳は、関東以外にも北陸・九州からの参加があり、オンラインセミナーのメリットと考えています。内容と講師は、以下の通りです。

プログラム (敬称略)

総合司会

熊谷総合病院 亀山 枝里

18:50～19:20 MRI『アーチファクトへの対応』

埼玉医科大学総合医療センター 吉澤 孝郁

19:20～19:50 US『肝臓検査の見方』

済生会川口総合病院 戸澤 僚太

19:55～20:25 TV『基準撮影法2における透視観察手順の標準化』

行田中央総合病院 浅見 純一

20:25～20:55 MMG『どの撮影法が適切なのか迷っていませんか?～追加撮影の使い方～』

熊谷生協病院 新島 正美

学術ナイトセミナーは、初学者向けをコンセプトとして、今まで感染対策や一般撮影、CTの撮影条件などに関して情報提供してきました。しかしながら、診療放射線技師の業務は今回企画したようにMRI、US、TV、MMGなど多岐にわたるため、このような企画は会員の皆さまにとって有意義であると考えています。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

2021年度 第6回 DR計測セミナー開催報告

学術担当 土田 拓治

埼玉県診療放射線技師会主催のDR計測セミナーは、前回に引き続きオンライン開催となりました。受講された参加者数は16人でしたが、オンライン開催の利点でもある遠方からの参加もみられ関心の高さを知ることができました。

このセミナーは本来、施設をお借りして実習形式で行うことで受講者の理解を深めることが目的でした。しかし、オンラインセミナーでは座学中心の構成になりがちでしたが、今回のテーマである「task-based MTFのデータ取得から解析の実際」をモニタ越しに体現でき、使用する解析ソフトもimage Jの基本機能とエクセルのみで可能で、興味深い内容でした。

セミナー後のアンケートに関しても、皆さんからわかりやすく満足したとの回答をいただけたことは、次回開催に向けて我々のモチベーションになります。今回ご講演いただきました堀切先生、戸澤先生にはこの場をお借りし、お礼申し上げます。

プログラム (敬称略)

19:00～ 開会挨拶・オリエンテーション 総合司会：土田 拓治 (済生会川口総合病院)

第1部

19:05～20:00 画像処理を含めた画質評価について 堀切 直也 (埼玉医科大学病院)

第2部

20:00～21:00 task-based MTFのデータ取得から解析まで
戸澤 僚太 (済生会川口総合病院)

SART学術企画 AI(Artificial Intelligence)講習会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
学術理事 中根 淳

2021年11月18日にweb会議システムを用いて、SART学術企画AI講習会を開催しました。参加は29人の申し込みがありました。内訳は、関東以外からの参加があり、オンラインセミナーのメリットと考えています。また、特別講演の渡部先生のご配慮により、埼玉工業大学の学生の方も参加していただきました。内容と講師は、以下の通りです。

プログラム (敬称略)

総合司会

済生会川口総合病院 城處 洋輔

一般講演

- 18：50～19：20 CT検査における自動ポストプロセスの現状
埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳
- 19：20～19：50 一般撮影におけるポジショニング判定支援機能について
埼玉医科大学病院 平野 雅弥

特別講演

- 20：00～21：00 交通弱者による交通弱者のための自動運転AIバスの開発
埼玉工業大学 工学部 情報システム学科 教授 渡部 大志

講習会の内容としては、平野先生から、一般撮影にコニカミノルタ株式会社のポジショニング判定支援機能を導入して、ポジショニング不良を主観のみならず、客観的に捉えることがメリットであるとのことでした。CTでは、日常のルーチン作業となっているMPRや3Dなどのポストプロセスの自動化に関して、画像の認識精度技術と自動転送設定機能などを組み合わせることで、人の手を介すことなく、検像システムに画像が転送される様子を動画にて紹介していただきました。

特別講演の渡部先生からは、自動運転技術はもちろんのこと、交通弱者の方が運転可能なジョイスティックカー誕生までの道のりを貴重な検証動画を交えて我々診療放射線技師にもわかりやすいようにご説明していただきました。車は、移動手段として活用されることと、人の趣味として活用されることがあり、自動運転と共存していくのではないかとのことでした。また、3人の講師と共に、AIという機械に任せることで、安全をどのように担保するのか課題であるとの認識を示していました。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

2021年度 第19回 胸部認定講習会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 学術理事 滝口 泰徳

埼玉県診療放射線技師会主催の胸部認定講習会が、2年ぶりにオンラインにて開催されました。受講された参加者は20人おり、県外からの参加者もみられ、オンライン開催の利点であると考えています。非会員の受講者も4人おり、本講習会を通じて埼玉県診療放射線技師会の学術事業に興味を持っていただき、会員数の増加につながることを願っております。今回、認定講習会として初めてとなるWeb形式での講習会を行うに当たりご協力いただいた講師の先生方、またご参加いただいた受講生の皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

プログラム (敬称略)

| | | |
|-------------|------------------|---------------------|
| 9:00~ | オリエンテーション | |
| 9:10~10:10 | 胸部単純写真の撮影法 | 滝口 泰徳 (JCHO 船橋中央病院) |
| 10:10~11:10 | 装置の基礎 | 曽根 達也 (東川口病院) |
| 11:10~11:20 | 休憩 | |
| 11:20~12:20 | 胸部のCT診断 | 笹原 重治 (上尾中央総合病院) |
| 12:20~13:20 | 昼休み | |
| 13:20~14:20 | 胸部単純撮影の適正線量と被ばく | 森 一也 (済生会川口総合病院) |
| 14:20~15:20 | 胸部撮影における画像処理について | 戸澤 僚太 (済生会川口総合病院) |
| 15:20~15:30 | 休憩 | |
| 15:30~17:00 | 胸部単純画像の読影法 | 佐々木 健 (上尾中央総合病院) |

2021年度 第12回 CT認定講習会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
学術理事 中根 淳

2021年12月12日にweb会議システムを用いて、2年ぶりにCT認定講習会を開催しました。受講者は18人で関東以外に北海道や九州からの参加もありました。CT認定講習会は、今まで会場型で実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、認定講習会の継続を目的とするため、開催方式をオンラインに方向転換して開催に至りました。CT認定講習会は実習も含まれるため無事に講習会を終えることが出来るのか不安もありましたが、受講者の皆さまのご協力のおかげで、画面共有や遠隔操作のアプリケーションを活用しプログラム通りに終了することが出来ました。受講者の皆さまのご協力に感謝いたします。また、講習会の途中において通信環境の影響で、少し聞き苦しい場面がありました。この場をお借りしてお詫びさせていただきます。

内容と講師は、以下の通りです。

| CT認定講習会 プログラム | | |
|---------------|------------------|----------------------------------------|
| 8:25~ 8:30 | オリエンテーション | |
| 8:30~ 9:30 | 頭頸部CTの撮影法、読影講義 | 富田 博信 済生会川口総合病院 |
| 9:30~10:30 | 胸部CTの撮影法、読影講義 | 染野 智弘 羽生総合病院 |
| 10:40~11:40 | 腹部CTの撮影法、読影講義 | 八木沢英樹 JCHO 埼玉メディカルセンター |
| 11:40~12:40 | 救急CTの撮影法、読影講義 | 寺澤 和晶 さいたま赤十字病院 |
| 13:40~14:40 | 造影技術概論 | 中根 淳 埼玉医科大学総合医療センター |
| 14:40~15:40 | 物理特性講義 | 城處 洋輔 済生会川口総合病院 |
| 15:40~18:00 | 実習1 MTF、SSPz、NPS | 城處 洋輔 済生会川口総合病院 中根 淳 埼玉医科大学総合医療センター |